

レジャーダイビング認定カード普及協議会
(Cカード協議会)

2013年11月定例会議議事録

◎ 開催期日：2013年11月21日（木） 午後16時00分より

◎ 開催場所：(株)PADI JAPAN

◎ 出席者（アルファベット順：敬称略）

☆BSAC JAPAN	株式会社BSAC	細川	俊一
☆CMAS=JEFF	株式会社ジェフ	後藤	勝之
☆DACS	セントラルスポーツ株式会社	岩本	真司
☆KD JAPAN	関西潜水連盟	松村	卓也
☆JUDF	全日本潜水連盟	吉村	忍
☆JP	JPインターナショナル	平川	大輔
☆PADI	株式会社パディジャパン	中野	龍男
		村上	史朗
☆STRAS	水中活動研究所有限公司	岡本	康男
☆オブザーバー	株式会社 エスアイドゥ	市原	隆久
	静岡県ダイバーズ協議会	渡辺	守
		我妻	亨
	海上保安庁	金川	和司
		松田	智紘

1. 進行／記録：事務局 宗田

2. 定例会議事

① 日本水泳・水中運動学会C協ブース出展結果について

● 以下、大学プログラム実行委員報告

- 2013年11月2日・3日に早稲田大学所沢キャンパスで、日本水泳・水中運動学会2013年次大会が開催され、同学会にてC協として大学授業にダイビングコースを採用する様アピールした。
- アピールの方法として、C協のブースを設け、同ブースにおいて、ダイビングコースの大学授業採用の興味度のアンケート調査を実施。
- 結果、筑波大学、専修大学、鳴門教育大学、他無記名1大学が興味を示した。

② 大阪会場・第三回ダイバー自身の安全対策セミナー開催結果について

● 以下、実行委員報告

- 2013年10月26日、大阪にて第3回ダイバー自身の安全対策セミナーを開催
- 事前予約81名に対し、67名の参加
- 参加者の中には地元消防署職員13名が含まれる
- 2012年と2013年の事故データを基に、ダイバー自身の自己責任意識向上とダイビング能力向上が事故予防の基礎であることを伝達した。
- 当日は活発な意見交換が行なわれ、参加者に対するアンケート調査からは継続的な大阪開催の要望があった。

③ 海上保安庁

- 海上保安庁救難課金川氏より、2012年・2013年事故データを基に、ダイビングの安全向上の為に講義が行なわれた。
- 同講義では、以下の2点が強調された
 - ・ ダイビングのリスクの伝達と安全意識向上
 - ・ インストラクターのレベル管理

④ その他

- 事務局より、DAN JAPANから安全潜水を考える会の告知協力依頼があったことが報告され、C協加盟各社のHPで、告知協力を行なうことが決められた。

以上